

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立宍道中学校）

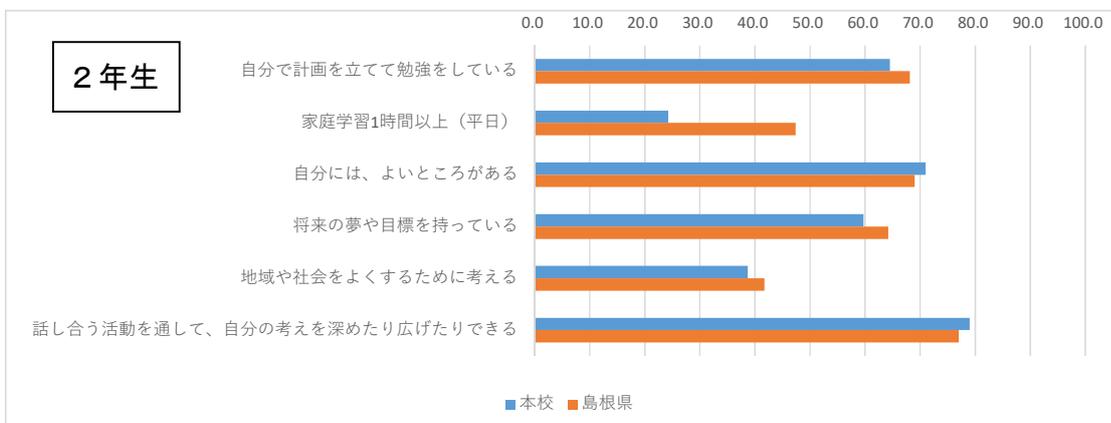
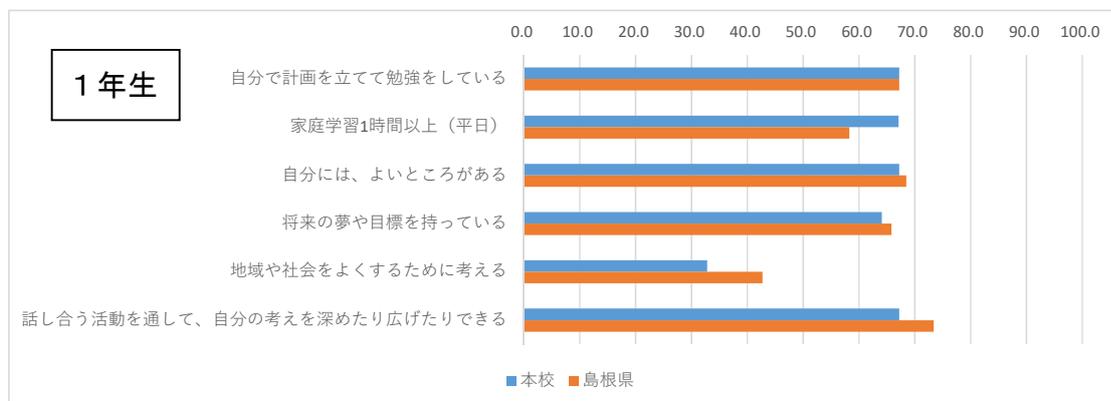
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○「情報の扱いに関する事項」については、県や全国平均を上回る結果となっている。 ●「我が国の言語文化に関する事項」についての正答率が他の分野と比べても低くなっている。1年生での学習内容が基本となるため、改めて確認する必要があると考える。	2 年 国 語	○「読むこと」については、県や全国平均を上回る正答率となっている。 ●全体的に、県や全国を下回る正答率となっており、特に「書くこと」については無回答率も高く、書くことに向かう姿勢から授業を通して指導する必要があると感じた。
1 年 数 学	○正の数・負の数の大小関係や絶対値、比例式の計算、座標の表し方については、県および全国平均正答率を上回っている。 ●平面図形に関する問題では、県の平均正答率を下回っており、今後の課題となっている。	2 年 数 学	○領域別では、関数領域において県の正答率を上回っており、ある程度理解がされていると思われる。 ●記述形式の問題が市、県の平均正答率を大きく下回っており、今後の課題と思われる。
1 年 英 語	○「聞くこと」については「書くこと」「読むこと」に比べて強みがある。音読や英会話を通じて強みを生かしていきたい。 ●いずれの категорияにおいても県平均を下回っている。生徒が興味を持ち、取り組みやすい活動を通して基礎的な知識・技能を身に付けていく必要がある。	2 年 英 語	○英文を読んで選択する問題、記述問題など、知識・技能を問われる問題は県並みの平均正答率である。 ●思考力を問われる問題について、県の平均正答率を下回っており、書く能力と長文を読んで要点をつかむ力を伸ばしていく必要がある。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○家庭学習を平日1時間以上している生徒の割合が県平均の割合と比べて高く、学習する習慣がついている。 ●「地域や社会をよくするために考える」「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできる」が県平均に比べて低い。自分の考えをまとめたり、周りに伝える学習活動を積極的に取り入れていきたい。	2 年	○「自分にはよいところがある」「話し合い活動で自分の考えを深めたり広げたりできる」という項目に関して肯定的に答えた生徒の割合が高い。 ●家庭学習を平日1時間以上している生徒の割合が、県平均の割合と比べて低い。学習した内容が定着するよう家庭で復習することを習慣化できるようにしていきたい。
--------	--	--------	--

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 64名 2年生 62名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。